

## CEPA早わかり ～進化する経済・貿易緊密化政策～

香港貿易発展局東京事務所 コーポレート・コミュニケーション&マーケティング・マネージャー 米岡 哲志

香港に関連する経済情報に関心を持つ方であれば、「CEPA」という4文字を目にしたことがあることでしょう。恐らく最初は読み方にとまどうのではないのでしょうか。日本では「セパ」と読まれることも多いようですが、香港のアナウンサーは「シーパ」と発音することは覚えておいてください。

CEPAが香港政府と中国政府の間で締結されたのは、今から12年前の2003年6月29日のことでした。この年の大事件と言えば、何と言っても新型肺炎SARSです。同年1月に広東省で死者が出たのを発端に、香港でも瞬く間に感染が拡大しました。同年4月には人気歌手、張國榮（レスリー・チャン）氏の自殺という痛ましい出来事もあり、香港社会は暗いムードに覆われました。

こうした中で中国政府は、懸案だった香港との自由貿

易協定（FTA）に相当するCEPAを締結することで、香港を支援する意図があったとされています。具体的には、中国は2001年12月の世界貿易機関（WTO）への加盟によって、香港を含むWTO加盟国・地域に対し、2006年12月までに、サービス業の制限を原則撤廃する方針を表明していましたが、香港企業（外資系含む）に対しては、CEPAによって、自由化時期を前倒しする形になったのです。

CEPAは簡単に言うと、「商品貿易の自由化」「サービス貿易の自由化」「貿易投資障壁の撤廃」を図るための取り決めです。そして、その適用分野と品目は、2004年から2013年まで毎年1度署名された補充協議文書によって、徐々に拡大されました。

ワインが制限撤廃の対象に加えられた際には、香港に新設ワイナリーが出現しました。外国産ブドウを香港で醸造し、香港産ワインとすることで、中国が外国産ワインに課す50%近い税率が、実効税率10%未満へと下がり、ワイナリーは大きな恩恵を享受しました。

一方、サービス分野では、香港の法律事務所、会計事務所などが中国本土に進出し、中国国内の地場・外資系企業がともに、高い品質のサービスを受けることができました。

その後、中港両政府は2014年12月、香港と広東省の「サービス貿易自由化協定」を締結しました。これにより、広東省との間では、サービス業にかかわる規制がさらに緩和されることになりました。今後、対象となる地域が広東省以外に広がる可能性もあり、CEPAの進化、拡大版として注目を集めています。



2003年の署名式は当時の中国の温家宝首相と香港政府の董建華行政長官が見守る中、香港特別行政区の梁錦松（アントニー・リヨン）財政長官（当時）と中国中央政府商務部（商務省）の安民副部長（副大臣）が署名した（香港特別行政区政府提供）

2015年8月発行（禁無断転載）

### 目次

CEPA早わかり ～進化する経済・貿易緊密化政策～	1
香港国際見本市&会議の基本ガイド～行ってみよう！見てもう！～	2
香港書展（ブックフェア）	3
日本酒と私	4
茶餐廳の魅力にハマりませんか？	5
連合会・各協会便り	
全国：第12回チャイニーズ・マネジメント&マーケティング・スクール/香港フォーラム2015のご案内	6
東京：今年改革創世記/日本のおむすび文化！香港へ、そして世界へ～第40回香港ビジネス懇話会～	7
関西：大阪をテーマにしたセミナー開催	8

中京：雑考の中で	9
九州：平成27年度通常総会・講演会・交流会の開催	10
北海道：「香港ビジネスセミナー」、「香港のつどい2015」を開催	11
宮城：2015年度通常総会&セミナーを開催/女性部会が香港文化教室を開催	12
沖縄：香港・沖縄の貿易ビジネスについて	13
広島：春節・意見交換会の開催	14
新潟：平成27年度通常総会・講演会・懇親会	15
フォーシーズンズホテル丸の内東京からのご案内	16

## 香港国際見本市&会議の基本ガイド ~行ってみよう! 見てみよう! ~

香港貿易発展局東京事務所 コーポレート・コミュニケーション&マーケティング・マネージャー 米岡 哲志

香港貿易発展局は香港にとっての新たなマーケットとビジネスチャンスの開拓を目的として1966年に設立された政府系機関で、来年で設立50周年を迎えます。事業内容は多岐にわたりますが、中核になるのが、年間35本を数える国際見本市と同4本の国際会議の運営です。6月を唯一の例外として、香港で毎月少なくとも1本の大規模見本市を開催しております。今回はその中から、日本とのかかわりが特に深いものをご紹介しますと思います。

2014年度(2014年4月~2015年3月)に日本からの出展者数が最も多かったのは、ジュエリー天国香港を代表する宝飾見本市『香港インターナショナル・ダイヤモンド、ジュエル&パール・ショー』『香港インターナショナル・ジュエリー・ショー』(合計286社・団体)でした。続いて究極の食品見本市といわれる『フード・エキスポ』に252社・団体が参加。このほか、仏カンヌのMIPCOMと並ぶ映像コンテンツ見本市『香港フィルムアート』(97社・団体)、アジア最大のワイン取引市場である香港を代表する酒類見本市『香港インターナショナル・ワイン&スピリッツ・フェア』(97社・団体)、2015年度香港政府予算案で重点的な育成が図られることが決まったファッション産業の見本市『香港ファッション・ウィーク(春/夏)および(秋/冬)』『ワールド・ブティック』(合計53社・団体)がトップ5に入りました。

一方、バイヤー側に目を転じると、日本からの参加が最も多かったのは、『香港エレクトロニクス・フェア(春)および(秋)』『インターナショナルICTエキスポ』『エレクトロニクスアジア』といったエレクトロニクス分野で、4つの見本市に参加した日本からのバイヤーは実に合計3,490人にも上りました。これらの見本市には、いずれも多数の中国本土企業が出展しており、良品廉価な部品・製品の調達を目指す日本のバイヤーに最適な場となっています。続く『香港インターナショナル・ダイヤモンド、ジュエル&パール・ショー』『香港インターナショナル・ジュエリー・ショー』にも、日本から合計3,167人のバイヤーが押し寄せました。その他、香港経済の現在の繁栄の礎となった軽工業の見本市『香港ギフ

ト&プレミアム・フェア』『香港玩具&ゲームフェア』に合計2,247人、伝統工芸品や「カワイイ」系アイテム、ペット用品など日本からの出展も多い『香港ハウスウェア・フェア』に713人、『香港ファッション・ウィーク(春/夏)および(秋/冬)』『ワールド・ブティック』に合計590人が、それぞれ訪れました。

香港貿易発展局が主催する国際会議には、1月の『アジア・ライセンシング会議』『アジア金融フォーラム』、11月の『アジア物流&海運会議』『アジア知的財産ビジネス・フォーラム』があり、昨年度は日本から合計94人が聴衆として参加しました。

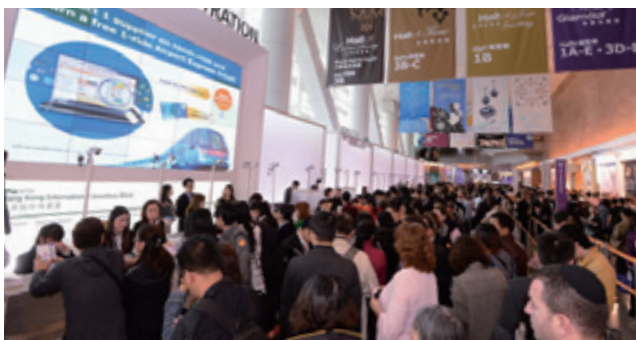
香港が世界のジュエリー天国であり、日本の出展者やバイヤーが殺到していることは、これまで業界関係者以外には、あまり知られて来ませんでした。ところが最近では、テレビ東京の「ワールド・ビジネス・サテライト」(2015年3月16日放送)、日本テレビの「有吉ゼミ」(同年4月13日放送)、フジテレビの「坂上忍のホンネJAPANが行く!! 香港&マカオ」(同年6月16日放送)といった在京キー局が、相次いで香港のジュエリー市場を取り上げ、一般の方々の間にも、徐々にその実態が知られるようになってきました。

香港では貿易発展局主催の上述のフェア以外に、6月と9月にも大規模な宝飾見本市が開催されます。また、宝飾産業に近い分野として、8月に香港貿易発展局が開催している時計見本市『香港ウォッチ&クロック・フェア』は、この分野の見本市として世界最大となっています。

こうした香港の国際見本市・展示会にまだ参加されなかった方がいらっしゃいましたら、次回の香港出張・観光の際にぜひ、湾仔の香港会議展覧センター(香港コンベンション&エキシビション・センター)か、ランタオ島の亞洲国際博覧館(アジアワールドエキスポ)にお立ち寄りください。皆さまの海外ビジネス拡大のきっかけになる、素晴らしい国際見本市・会議との出会いがあるはずです。

香港貿易発展局主催の国際展示会・見本市に関する情報は、同局日本語サイトにて

[www.hktdc.com/japan](http://www.hktdc.com/japan)



『香港インターナショナル・ジュエリー・ショー2015』には世界中から多くのバイヤーが詰め掛けました



『フード・エキスポ2015』で、ジャパン・バビリオンを視察する林芳正農林水産大臣



## 香港書展（ブックフェア）

赤澤 章弘

はじめて香港に行ったのが2008年7月、それ以来毎年3回から4回香港を訪れています。いわゆる「ハマってしまった」状態です。お正月、ゴールデンウィークは特に目的はないのですが、7月だけは目的あって、その目的というのが香港書展を見ることです。私事ですが、昨年末25年勤めた書店を退職しました。書店人として関心があった香港書展ですが2015年の今年は違います。

香港會議展覽中心で7月に一週間香港書展は開催されています。私のはじめての香港は、ツアーであって自由時間が貴重であったにも関わらず、たまたま見かけた広告に誘われて尖沙咀の観光もそこそこに灣仔に向かいました。灣仔駅に着いて改札を出ると、すぐに「書展→」という表示が目につき、それに従ってエスカレーターを上がり、歩道橋を延々と歩きました。7月の香港は非常に暑い。その暑さの中一体どれくらい歩いたのかと今まで確かめたこともなかったのですが「香港街道地方指南」で確認してみたところ、灣仔駅から香港會議展覽中心まで300メートルくらいしかなく、大した距離ではありませんでした。しかし、その時はどこに向かっているのかも分からずに人の波に流されて歩いていたのでずいぶん遠くに感じられました。

ようやく中に入ってみると展覽中心はとんでもなく広い会場でした。広さは世界最大のフランクフルトブックフェアには及ばないようですが、東京国際ブックフェアよりはるかに大きな会場です。

帰国後、香港書展のホームページで調べてみると2008年の総入場者数は829,967人であったとのことで、今まで見たこともない規模であったことを知りました。ちなみに東京国際ブックフェアの2014年の入場者数は4日間で62,855人、フランクフルトブックフェアの2014年の入場者数が5日間で269,534人であり、香港書展たるや2014年においては7日間で101万人を数えました。会場はとにかく人、人、人おそらく一日中混雑しているのではないかと思います。2014年の売上が入場者一人当たり平均987香港ドルであったそうで、これに101万をかけると売上の総額が分かります。



書籍の集客力に改めて驚く

東京やフランクフルトと違って、香港書展は国際ブックフェアではありません。にも関わらず、この桁違いの集客数には驚くばかりです。現在の書展のホームページでは詳細な統計は掲載されていませんが、大陸、台湾あるいはその他の地域からの来場者が12万人だったそうで、香港のブックフェアといいつつ中

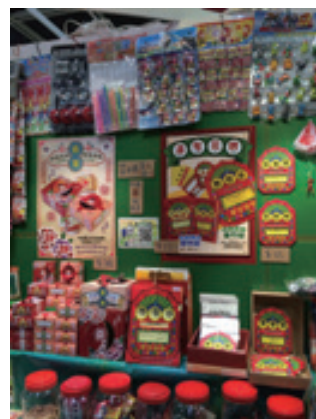
国語の話者の数を考えれば中華世界の一大ブックフェア的な性質を持っているのが一つの特徴といえましょう。

2015年の開催スケジュールは、7月15日から21日まででした。開場時間は曜日により異なりますが、おおむね10時～22時くらいです。金曜日と土曜日は夜中の12時まで開場しています。午後10時近くに入場しても場内の混雑ぶりは変わらず、夏休みの時期ということもあって子供たちの姿もたくさん見られます。書籍でこれほどの集客できるのかということに毎回驚いています。

会場は大きくは一般、宗教、児童、文具といったセクションに分かれています。一般のセクションでまず目につくのが商務印書館、三聯書店、中華書局、Page Oneなどの香港の大書店の販売ブースです。読者の目を引こうと各店ともいろいろ工夫をこらしたディスプレイが楽しいです。あとは香港の出版社のブースが並びます。2014年は570社が参加したそうです。それぞれのブースで割引販売が行われており、たとえば商務印書館であれば20パーセント割引、かつ、200香港ドル以上の買い物をすると市中の商務印書館で通用する割引カードがもらえます。書籍の値引き販売のほかに集客を促進する装置として著者、有名人の講演会が用意されています。昨年は風水で有名な蘇民峰氏の講演を見に行きました（ほぼ分かりませんでした）。

何人かの香港人の知人に香港書展に行くかと尋ねてみたところ、尋ねた全員が「行かない」と答えました。理由は「太多人」（人多すぎ）。日によっては灣仔駅から香港會議展覽中心までの歩道橋が渋滞し、ディズニールンドのアトラクションに乗るための行列みたいになってしまふ時間帯があり、歩道橋、鐵馬（鉄の柵）で作られた迷路のような迂回路を迂回してようやく香港會議展覽中心の入口にたどり着くというのも何回も経験しています。

日本においては出版、書店業界は正直元気がないので。しかし、香港のこうした活動を見ていると日本の業界でまだまだやり切れていないことがあるのではないかと考えさせられます。まだ、それが何かを見切れてはいませんが書店を離れ、一読者として新しい日で何かを発見できればと期待して今年も行ってきます。



香港らしいグッズも面白い

赤澤章弘／香港巴士鐵路旅遊協會會員。映画「無間道」を觀て香港と廣東語にはまって7年たちました。

## 日本酒と私

### 日本香港協会理事 アルフレッド張

#### ◆最初の出会い

子供のころから、親がよく酒を飲むのを見るのは余り好きではなく、酒と言うものは避けたほうがいいと思ひ込みました。大学生になってからたまにビールぐらいは飲み、酔わないと自慢した事がありました。さらに飲み比べやラッパ飲みなどよくやりました。20歳頃私の記憶のなかで、酒はビールかブランデーか中国の白酒以外は殆ど飲んだことはありません。勿論ワイン、ウイスキー、焼酎、紹興酒、日本酒など味も分かりませんでした。

70年代から、日本へ留学しました。奨学金を頂き、多少の余裕が出てきたら、居酒屋へよく飲みに行きました。焼き鳥とビールは僕にとって最高の組み合わせでした。その時日本酒はあまり注文しない、理由は多分二日酔いでしょう。僕は安い日本酒を飲んでから翌日に頭痛が堪らないのは何度も経験しました。場合によって気分が悪くなり吐き出すまで本当に最悪のことでした。

社会人になってから、仕事の関係で飲み会が徐々に増えて来ました。皆様とビールを乾杯してから日本酒がよく出てきました。熱燗か冷酒かと言う言葉は段々なれてきました。甘口と辛口の違いも分かるようになりました。更に多少の専門用語も覚えて例えば精米歩合、原酒、吟醸、酵母など会話に出す事もできることになりました。

#### ◆酒屋と私

うちの嫁さんの実家は東北の秋田県です。秋田市ではなく、港町の土崎です。冬が厳しくて雪がよく降ります。でも酒が皆大好きです。義理の父親は小さい酒問屋を経営しました。僕は酒屋さんの仕事に興味がありませんでした。僕は30歳ごろよく年末に店の手伝いに行きました。手伝いと言っても雑用係りで、酒を運んだり、包装をしたり位の事です。徐々に酒の名前を覚えて店の先輩社員から色々な日本酒関係の話も教えて貰いました。特に酒税関係の複雑さと酒の免許制度が多少分かりました。あの頃、酒の量販店が出始めて、安い値段と量が勝負の鍵に成りました。うちも土崎で酒の量販店を発足させ、益々事業拡大の路線へ進行了ました。その時、僕の番がようやくきました。量販店の社員が増えると人事管理、年間予算、コンピューターの導入等結構複雑な課題を解決しなければ成らぬ事でした。やればやるほど酒屋の仕事に興味を持ち、経営の事も一時的にやりたいと思った時期も有りました。時々、会社の休暇を利用して親しい日本酒のメーカーを訪問してより日本酒の生産過程を理解して時には珍しい酒も頂きました。特に酒蔵で瓶詰め直前の日本酒（高清水）を飲んだ事があり、香りも味も今日まで忘れません。30数年前、日本酒の輸出の話も出てました。記憶の中にある秋田の日本酒メーカーの社長と会談の話題一つ、酒の名前を翻訳するとよそ国の文化と言葉の特殊な意味を注意しなければ成らぬ事。特に日本語と中国語の発音は微妙な所かなりあります。この日本酒メーカーの名前（新政）は広

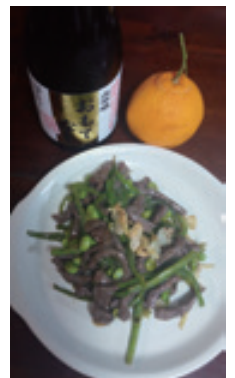
東語で読むと可笑しく売り物にならないと僕のアドバイス。

#### ◆日本酒と人脈

僕の友達の仕事以外の付き合いが結構多いです。特に趣味関係の友人は皆酒が好きです。一旦お酒を飲み始めると、話題が沢山湧いてきます。あまり親しくない友達も、乾杯をしてから急に話が面白くなります。酒は人脈作りと関係があり、うまくすると仕事や人間関係もよくなります。ある大手タイヤ会社の役員と会う度に必ず日本酒の話が出ました。彼は約一千種類の日本酒のデータベースを持ち、この話題をすると何時も親切に日本酒の特徴を教えてくださいました。いい勉強になりましたと同時に仕事の話もしやすくなりました。僕もよくお客様の好みを暗記する習慣があります。例えばこのお客様は北海道のある銘柄（男山）が好き、次回会うと最初からこの日本酒を注文をします。お互いに直ぐ話題に入りやすいです。おつまみも、海老や鶏肉が嫌いなお客様に対して、この様な注文は絶対に避けた方がよろしいです。酒を飲むと色んな秘密話しもよく出ますから、口軽く喋ると大変な事態が発生する事となり、僕は何度も経験したことがありました。その時は素早く話題を変えて逃げましょう。

#### ◆日本酒と料理

学生時代はお金の余裕がなくて、よく自分で安い食材を買い自己流の料理を作りました。経験を積み重ねるとだれでも巧くなります。肴と酒はよくあいます。僕の得意な料理は中華風の野菜炒め、魚の味噌煮、広東風茶碗蒸し、水餃子、春巻き、炬燵焼き、鹵水珍肝などをよく自宅で作りました。得意な一品料理と日本酒が揃ったらもう一日の疲れを忘れてしまいます。比較的に僕は甘口の日本酒が好き、とくに純米吟醸か純米大吟醸を常温でよく飲みます。食用アルコール添加物が嫌いなので多少値段が高くても純米大吟醸が飲みたいです。日本酒は刺身と肉料理が凄く合うと思いつつながら晩酌に欠かせない飲み物です。最近日本円は為替の関係で安くなりました。日本で大吟醸を買うと品柄によって香港より三割以上安く本当に買得な物です。時々僕は香港の友人のマンションで出張料理人のアルバイトをやります。食材は調味料と特別な日本食品を除く全部香港現地で買います。日本酒は日本からのお土産品です。大体20人位集まり僕一人で日本風の料理を作ります。評判もおかげ様で悪くありません。旧年香港で一度だけ懐石料理を友人の要望で披露しました。その時何種類もの日本酒を揃えて飲みながら料理を食べて貰う事をしました。最高の出来事の一つでした。飲んで飲ませてと言うのは日本の伝統文化ではないかと僕は信じます。



おもてなし日本酒で乾杯



## 茶餐廳の魅力にハマりませんか？

日本香港協会会員 隅田 香織

2015年3月、東京・飯田橋に香港の茶餐廳「贊記茶餐廳」がオープンしました。今までも「香港」を売りにした飲食店はあったと思いますが、ここまで香港現地に近い茶餐廳はなかったのではないのでしょうか。オープンしてから連日のように香港迷（香港ファン）と東京在住の香港人が押し寄せ、週末には行列が出来るほどになっていました。SNSでも「行ってきた！美味しかった」「香港と同じ味だった！」「私も週末行くので楽しみ！」「営業時間を教えて！」といったやり取りや情報交換がすごく、多くの香港迷と香港人の期待を感じました。

茶餐廳とは香港ではファミレスのような喫茶店のようなローカルレストランです。共働きの多い香港では茶餐廳で食事を取る人も多く、低価格でボリュームなメニューが茶餐廳の魅力です。

私は1999年から2年ほど香港に住んでいましたが、実は当時はあまり茶餐廳を利用していませんでした。茶餐廳は基本的に英語メニューはもちろん、日本語メニューなんてありません。広東語がわからなかった私にはハードルが高く、オーダーの仕方もわからないので、茶餐廳に行くのは喫茶店代わりに「奶茶」を飲むだけのときでした。帰国して香港通いをするうちに茶餐廳の魅力にハマり、茶餐廳で使える広東語を勉強するようになってから、より一層楽しくなって通うようになりました。

最近では観光客向けに英語メニューや写真付きメニューが置いてあるお店が増えたり、ガイドブックなどでオーダーの仕方を指南していたり、小奇麗なお店も増えたので以前に比べたら気軽に香港ビギナーさんでも入りやすいです。

香港通の多くの日本人は茶餐廳が好きです。その魅力のひとつは「現地の人しか通わない店に行くというスリル」だと思います。広東語だけのメニューで、広東語しか通じない店員さんにオーダーすることは、普通の旅行者ならばそんな面倒なことは避けたいと思いますが、香港通さんにはそれが魅力で、広東語で何と言おうか？何を頼もうか？とワクワクしながら考えていると私は思います（実際に私がそうです）。

茶餐廳には現地で通ってなければ分かりえないオーダー方法や茶餐廳メニューに仕組みがあります。例えば、奶茶や咖啡の砂糖を調整する「走甜」（砂糖抜き）、



連日香港ファンが集う飯田橋・贊記茶餐廳

「少甜」（砂糖控えめ）、ネギ嫌いな私には必要な「走青」（ネギ抜き）、そしてメニューには載っていないけど奶茶のミルクをエバミルクじゃなくてコン

デンスミルクを使用した「茶走」。サンドイッチは「改烘」と言えばパンをトーストしてホットサンドにしてくれます。これらの言葉やルールは通わないと分からない茶餐廳言葉です。これが使いこなせる優越感に浸る瞬間が私は大好きです。外国人が日本に来て、寿司屋のカウンターで難なく注文する感覚と同じでしょうか。だとしたら彼らもきっと優越感に浸ってるはずですね。

そしてもうひとつの魅力はメニューの多様さだと思います。トーストもサンドイッチも日本と違って種類が豊富です。バタートースト、ピーナッツバタートースト、ピーナッツバターとコンデンスミルクトースト、厚切りトースト、カヤジャムトースト、思いつくだけでこれだけあります。サンドイッチ、卵焼き、オムレツ、オートミール、麺類（汁なし含む）、スープ、サラダ、パスタ、ぶっかけご飯、ドリア、お粥、雲吞麵、焼きそばなど中華もあれば洋食もあるのが茶餐廳。本当にバラエティーに富んでいて、朝ごはんからランチ、おやつ、夕食、夜食といつでも行けちゃう万能レストランです。一人旅で香港を訪れても、茶餐廳なら1人で入りやすいし、賑やかなので寂しくない。香港通さんが通うのはそんなことがきっかけだったのかもしれない。

茶餐廳にはちょっと変わったメニューもあります。「熱可樂」は名前のごとくホットコーラ。最初は驚きましたが、慣れると病み付きになります。生姜入りは風邪により効果的です。「西洋菜蜜」はクレソンを水で煮出して蜂蜜を入れた甘い飲み物。なぜかコーヒーとレモンをミックスさせた「檸檬咖啡」もあります。誰が思いついたのでしょうか？そして私が試したくても怖くて試せない飲み物が「滾水蛋」。お湯に生卵が入っただけの飲み物。砂糖を混ぜて飲むようですが、だったら卵だけ食べたほうがまだマシかと？

他にも変わり種が多くて「今度行ったら試してみようかな……」と思い、香港に行くと自然と茶餐廳に足が向くのです。今年は東京で他にも香港カフェのオープンが続き、ちょっとした香港ブームが来ている気がします。今までありそうでなかった「香港料理の店」が長く日本に根付くことを祈っています。



日本で味わえる本場の菠蘿油と蛋撻（贊記）

隅田香織／香港ウンチク話ブログ管理人。1999～2001年に香港居住、帰国後香港にハマる。2000年より香港ウンチク話サイト開始。現在は香港ウンチク話ブログにて香港のウンチク話や日本で楽しめる香港情報を配信中。



## 日本香港協会全国連合会

### 第12期チャイニーズ・マネジメント&マーケティング・スクール

日本香港協会全国連合会が主催する第12期チャイニーズ・マネジメント&マーケティング・スクール(CMMS)の開講式が4月2日に開催されました。今期CMMSも前期に引き続き東京、大阪、九州の3会場をテレビ会議システムをつないでの同時中継のスクールとなるため、開講式も3会場をつなげての開催となりました。

東京、大阪、九州で同時開催されたCMMS開講式には、九州日本香港協会会長石原進氏、九州経済調査協会理事長森本廣氏、北九州市立大学大学院マネジメント研究科教授王効平氏、日本香港協会全国連合会会長木全千裕氏、サカイオーベックス株式会社特別顧問藤澤慶彦氏、日本香港協会全国連合会事務局長古田茂美氏が出席され、それぞれ挨拶を述べました。また、各会場の様子がモニターに映り出される中、受講生27名が各会場にて一人ずつ各々の受講の意気込みを語りました。

今期CMMSは4月から9月までの約6か月間にわたり開催され、講義は毎週木曜日午後7時から9時の2時間となります。理論・実践編の20講義に、特別講義6講義が加わった全26講義は、各専門分野の著名教授陣をそろえ、最新の研究成果を踏まえつつ、華人経営の本質に迫り、実践におけるさまざまな事象の分析を可能にする基本的な知見を提供します。

CMMSは2003年に開講され、日本香港協会が主催し、香港大学商学院華人経営研究センター、香港貿易発展局の2つの組織が運営に協力するスクールです。本スクールは対中国・アジア依存に備え、華人資本組織とその経営行動様式を学ぶことができる、独創的なカリキュラムにより編成されています。本スクール最大の特徴はそのカリキュラムとチャイニーズの捉え方にあります。理論編、実践編から成る独特のカリキュラムは、思考訓練を

通じ、一人の人間に華人ビジネスの素養の定着を可能にする、画期的な内容となっています。理論編では華人社会の基礎概念を歴史、思想、社会学などから抽出して学習し、華人経営行動の分析力をつけます。実践編では業務分野別に華人経営様式を検討し、実際に分析してみます。

今期CMMSの講義はすでにスタートしていますが、見学、部分受講等は随時受け付けておりますので、ご興味のある方は全国連合会事務局までお問い合わせください。

### 「香港フォーラム2015」のご案内

今年で開催第16回目を迎える「香港フォーラム」は、2015年12月1日(火)～2日(水)の2日間にわたり、香港のコンベンションセンターにて開催されます。

香港フォーラムは、世界29か国/地域に跨る39の香港ビジネス協会から構成される香港ビジネス協会世界連盟(Federation of Hong Kong Business Association Worldwide)の全メンバーが一堂に会する年1回の世界会議です。香港そして香港を通じての中国本土、ひいてはアジア諸国へのあつい思いを胸に秘めた方々の結集です。また、「香港フォーラム」に先立ちまして、フォーラムの前日には毎年恒例の「全国協会交流会」を開催いたします。香港での年に一度の交流会には、日本全国から毎年100名以上の会員の皆様にご参加をいただいております。ぜひ今年も大勢の会員様のご参加を心よりお待ちしております。

#### 〈問い合わせ先〉

日本香港協会全国連合会

TEL 03-5210-5901

FAX 03-5210-5860



3会場をつないでのCMMS開講式風景



1 - 2 December 2015





## NPO法人日本香港協会 原田 光夫

## 今年改革創世記

NPO法人日本香港協会（JHKS東京）は今年度を「改革創世記」とし、あらゆる情報交換から会員宛ての情報発信、新規会員の募集や応募に至るまで最先端のネット技術を利用した運営に徐々に切替えて参ります。若年層から50歳代位の人たちならごく自然に受け入れ、自由自在に使いこなす情報社会の最新のツールが溢れる時代に在って日本香港協会の多くの情報の発信は確実に目的を充足するレベルにあるのだろうかと考えて参りました。

「飛龍」が定期刊行物として唯一の情報提供手段だとしたら、これは全国各支部に割られたスペースを利用しての情報伝達が可能となるでしょうが、全て事後報告が主となる記事で埋められております。昨今の各支部のさまざまなイベント情報、セミナーやビジネス懇話会等々の事前告知や情報発信にインターネットを駆使した伝達方法を利用する手段が不可避との結論から、NPO法人日本香港協会は2015年春、新会計年度に特別予算を計上し、初期段階の情報発信の手段を得、具体的な運用を始めました。

法人資格を有するため、JHKS.TOKYOのドメイン取得し、今後独自の情報発信を開始していく予定です。当面、協会のホームページを常に最新のものに修正する作業や各種セミナー、ビジネス懇話会、女子プロジェクト

「パウヒニア会」等々のイベント情報やイベントカレンダーなど、出来るだけ短時日の内に専門担当により事前告知から個々の出欠席、参加の有無など全てネット上での発信で事務処理が可能となる様に、加えて事務局の処理能力も改善される様、作業を開始しました。

また、NPO法人日本香港協会Facebookページ (<https://www.facebook.com/jhks.tokyo>) を立ち上げ、会員同士のコミュニケーションも可能となる体制を整え、こちらからも多くの情報発信をして参ります。

昨年2014年12月、香港フォーラム前夜祭開催前に第3回日本香港協会全国連合会総会が開催された折に出席された連合会役員（各支部会長、理事長、副会長）の皆様、小職からのご提案として、これからの時代、「日本香港協会」のあらゆる情報発信はネット技術を利用したものへの変革が必要とのお話をさせて戴き、在東京の全国連合会事務局を中心に各支部の情報を専任担当において毎日全国に向けて、情報の発信をする「案」を提出し、各支部にてのご検討をお願いし今日に至っております。全国各支部の事務局の皆様もそれなりに必要な情報を東京の本部事務局に発信して戴き、必要に応じてそれぞれの情報をネット上で発信しております事は承知しております。従来の電話、ファックスによる確認等は引き続き有効な手段として残るでしょうがペーパーレス時代ではやがて消えてゆくことになると思われます。

## ビジネス交流委員長 徳久 日出一

## 日本のおむすび文化！香港へ、そして世界へ ～第40回香港ビジネス懇話会～

2005年4月にスタートした香港ビジネス懇話会は、香港や中国の経済・ビジネスに造詣の深い内外の専門家や経営者等を講師として、会員の皆様に有益な情報を提供する場として支持されてきた。本年3月には第40回目を迎え、香港を代表する有名レストラン、丸の内の「福臨門」で開催された。当日は懐かしい本場仕込みの飲茶を味わい、香港でおむすび専門店を展開している百農社取締役の山田憲司氏を講師にお迎えした。



講師の山田憲司氏

百農社国際有限公司は2010年10月に香港で設立され、『華御結（はなむすび）』の店名で2011年6月に第1号店を開店、現在、香港に13店舗を展開中である。同社は、「世界一おいしい日本のお米を世界に」という企業理念を掲げ、香港を拠点

として、近い将来、中国・アジアから世界に多店舗展開を目指している。

講演では、香港での創業や店舗運営に当たり、香港に在住している日本人をはじめ、現地の多くの方々から多大な協力や支援を受けて、事業が順調に推移していること。

地元のお客様から日本のお米や惣菜、お弁当の味や品質が評価され、人気が高まっていること。創業2年目に業績が伸び悩んだ時に、元サッカー日本代表監督の岡田武史氏から貴重なアドバイスを受けて立ち直ったこと。などが深い感謝の言葉とともに熱く語られた。

賃借料や人件費が高騰している香港で、小売りや飲食業のビジネス環境はますます厳しくなっていく中、『華御結』は最適なビジネスモデルを構築しており、今後ますますの発展に大きく期待したい。



講演の様子



## 関西日本香港協会 事務局

### 大阪をテーマにしたセミナー開催

香港貿易発展局は2013年に関西の京都府・兵庫県・滋賀県・和歌山県と、また昨年1月には大阪商工会議所と覚え書を締結し、相互理解を深めながら関西と香港が経済交流を促進していくことになりました。本年1月28日には「think GLOBAL, think HONG KONG～国際化へのパートナー：香港in大阪～」のビッグイベントが開催され、香港から来阪した多数の著名な財界人たちが各県との産業協力関係の構築に向けて積極的に交流され、関西と香港との交流が活発化する気運が盛り上がっています。関西日本香港協会は、延べ801名が参加したビッグイベントの3分科会の司会進行役を務めたり、ヒルトン大阪でチャイニーズ・ニュー・イヤーズ・パーティーを同日開催して協会の存在感を高めました。

また、商都大阪の活性化が大阪と香港の交流促進につながるのとのお考えにもとづき、平成22年には「大阪のまちづくり」を考えるシリーズセミナーを4回開催しました。当協会の理事・文化部長の田島等氏が、若手経営者中心に運営されている「クール大阪活性化委員会」の専務理事として指導力を発揮されています。昨年来大阪への外国人観光客が急増している状況もあり、大阪の現状と今後の課題をよりよく理解する目的で下記セミナーを実施しました。

#### ◆文化部セミナー

「水都大阪 観光の昔・今・未来～増え続けるインバウンド～」

講師：一本松海運株式会社 運行管理者 一本松英三氏



文化部セミナー：  
一本松海運(株) 一本松英三氏

去る4月7日に香港貿易発展局大阪事務所のセミナー室で一本松氏に水都大阪の観光・水辺・舟運事業の現在と未来について説明していただき、12名が参加しました。一本松氏の説明によると、あべのハルカス、USJでの新エリア建設などで多くの観光客が来阪、今年のゴールデンウィークの行き先では圧倒的に大阪がNO.1だったようです。外国人観光客は、円安・LCCの増加を背景に平成25年に年間262万人を突破し、平成26年には年間372万人まで増加する見通しで、国内観光客も夏の大阪向けパッケージツアー利用者が大幅に増加しそうで、大阪(関西)は国内需要と海外からの需要を同時に享受する観光バブルに沸いているとのことでした。

この10数年の水辺整備事業により、道頓堀川に「とんぼりリバーウォーク」という水辺の遊歩道ができた

り、北浜に河川特区を利用した様々なオープンテラス(川床)ができたり、水辺の環境変化が観光客を呼び込んでいるようです。一本松海運の舟運事業も「落語家と行く なにわ探検クルーズ」「とんぼりリバークルーズ」「とんぼりリバー jazz ボート」などのアイデアがヒットし、「とんぼりリバークルーズ」の乗船客が年々増加し平成26年は20万人を突破、外国人観光客の乗船も急激に増加しているようです。一本松海運では水都大阪をさらに活性化させる新しいプロジェクトを計画中のことと、大阪ミナミ(道頓堀)を中心に「楽しい大阪」づくりが大阪活性化の起爆剤になることでしょう。

#### ◆昼食セミナー

「関西の魅力と関西空港」

講師：関西日本香港協会副会長 田中義次氏

6月10日にレストラン“Lawry's The Prime Rib, Osaka”で昼食セミナーを開催し、18名が参加しました。超人気のレストランで美味しいカリフォルニアワインとローストビーフをいただきながら会員同士の懇親を深め、昼食後田中氏に関西の魅力と関西空港の問題について話していただきました。

田中氏は全日空で米国駐在、全日空香港支店長、成田空港ハンドリング株式会社の社長を経験され、定年後も生産性本部観光地域経営フォーラムや中小企業基盤整備機構などで海外進出支援アドバイザーをされたり、大学で観光や物流に関する講義をしたりと活躍中です。

田中氏は、豊富なデータ・資料にもとづき

- (1) 日本・世界・関西の現状
- (2) 観光産業の経済規模と多様化・価値観の変化
- (3) 関西地域の活性化
- (4) 関西のGATEWAYとしての関西空港

について解説し、グローバル化の時代における多様な観光資源による関西の活性化とGATEWAY空港の役割が重要であると主張され、日本の観光力(資源と気質)がもたらす可能性は非常に大きく、安倍政権の「積極的平和外交」を大いに促すことになるだろうと述べられました。また、財政難の日本が資源を豊富にもち優位な競争力のもと、大いに成長が望めるのは日本の多様な観光産業であり、日本人の本気の意識改革と積極的な取り組みを世界が注目していると言われました。関西へのGATEWAYとしての関西空港と豊富な観光資源をもつ関西の将来性が期待できるセミナーでした。



昼食セミナー(写真左：田中義次副会長)





## 中京日本香港協会 事務局長 佐藤 亮一

### 雑考の中で

例年のことながら、夏季に向かう名古屋の暑さは地元TVが連日天気予報で告知してくれるが、昨今アメリカ、インド、中国他各地で地球規模の異変が当地のみではないようだ。真に「春宵一刻値千金花有清香月有陰」～中国深圳に住む友人から便りを戴いたが、段々現実の世界風情に通用しなくなって来つつある。

今回は、2題リポートしたい。

#### ◆中京地区の親睦行事

名古屋駅近辺の飲食店、遊戯施設他娯楽は従前駅裏と呼ばれる現在のビル群と線路側挟み反対側多かったが、現在は華僑の方々含め華人のビジネス進出も増えて来ており見事成功されている方が散見できる。華人として日本国籍を有したビジネスの世界で活躍されている。

先月も駐名古屋総領事館の方にも紹介され、名古屋駅近くで連日繁盛し行列を成している中国料理店（四川料理）を訪れた。サービス精神、エネルギー、会話も15年前に名古屋にいらして苦勞を微塵も感ぜられない流暢な日本語。そんな経営者の方と中京地区と中国人の特に婦人会を立ち上げようと企画した。これで第3回となるが茶話会を昼食兼ね継続してゆきたい。中国料理としては初回だが、過去に「中国茶」「コーヒー」各ルーツ探し、その道の熟練者に「その道一筋」とのテーマで、日中婦人の方々との連絡互いの情報交換の場に行っている行事である。名称は「中京パウヒニア会」、パウヒニアとは「香港の花」。香港自体の地名の謂れが香木の香りが港を包む小さな漁村から「香港」、元来は広東省新安県に属する。

#### ◆広東語教室

広東語教室を現在開講しているが中国語学習と違い、会話はある意味特殊な分野。広東語は香港、東南アジアでは利用価値が高い。生徒の女性たちは、趣味、香港映画、音楽など香港を通じて自己啓発や友達作りをされている。仕事に従事している中、週末を利用してみなさん香港にフライト。広東語教室から香港



中京日本香港協会第3回中京パウヒニア会  
「中国料理四川の会」

日本人学校に就職されている仲間も現地に居り、実に活動的ではばらしい。

かくも、女性礼賛ばかりして居れないと昨年、男性側にも提案すべく、ビジネス、観光にチャンスありか？と、深圳在住の友人会いに1人で往きは列車帰りは船と香港拠点に地図頼りに出かけた。一人旅は結構面倒と戸惑いは覚悟していたが、宿の尖沙咀を起点に九龍塘乗り継ぎ羅湖まで約1時間要した。列車内は広東語、中国語、英語（日本語は無）が飛び交い物凄く賑やかだ。これが中国式。

友人は南山区に居住しており建築業に従事、第一子のお祝いのためアポなしで出向いた。ケンピンスキーホテル（5星級）で会った、現在は内国人でも就職難ただし発展途上もあり技術、技能あればとの由、情報が全ての感あり。詳細は省くが中国特別行政区「香港」と比べて、中国内とはいえ物価、物量、タクシー等深圳はかなり安い。

個人会員の増加が中京日本香港協会急務であり事務局として各種企画実行する所存である。

### 日本香港協会全国連合会

〒102-0083 東京都千代田区麹町3-4 トラスティ麹町ビル6階  
香港貿易発展局 東京事務所内  
電話 (03) 5210-5901 FAX (03) 5210-5860

#### NPO法人日本香港協会（東京）

〒102-0083 千代田区麹町3-4 トラスティ麹町ビル6階  
香港貿易発展局内 電話 (03) 5210-5870

#### 関西日本香港協会

〒541-0052 大阪市中央区安土町2-3-13 大阪国際ビルディング10階  
香港貿易発展局内 電話 (06) 4705-7030

#### 中京日本香港協会

〒460-0003 名古屋市中区錦2-11-27 TH錦ビル8階  
株式会社喜齋内 電話 (050) 3620-2517

#### 九州日本香港協会

〒812-0011 福岡市博多区博多駅前2丁目9-28 会議所ビル1階  
地域企業連合会 九州連携機構内 電話 (092) 451-8610

#### 山形日本香港協会

〒990-2432 山形市荒瀬町1-14-21  
(株)日本不動産コンサルティング内 電話 (023) 633-2110

#### 北海道日本香港協会

〒060-8661 札幌市中央区大通西3-11  
北洋銀行国際部内 電話 (011) 261-4288

#### 宮城日本香港協会

〒980-0804 仙台市青葉区大町1-4-1 明治安田生命仙台ビル4階  
(株)JTB東北 地域交流・MICE事業部内 電話 (022) 204-6980

#### 沖縄日本香港協会

〒900-0033 那覇市久米2-2-10  
那覇商工会議所内 電話 (098) 868-3758

#### 広島日本香港協会

〒730-0052 広島市中区千田町3-7-47 広島県情報プラザ3階  
(公財)ひろしま産業振興機構 国際ビジネス支援センター内  
電話 (082) 248-1400

#### 新潟日本香港協会

〒951-8052 新潟市中央区下大川前通四ノ町2186番地  
愛宕商事株式会社内 電話 (025) 365-0001

URL <http://www.jhks.gr.jp>



## 九州日本香港協会 事務局



交流会

### 九州日本香港協会 平成27年度通常総会・講演会・交流会の開催

九州日本香港協会では6月30日(火)にグランドハイアット福岡にて、総勢53名のご参加を頂き、平成27年度通常総会・講演会・交流会を開催しました。総会では平成26年度事業報告・収支決算、平成27年度事業計画・収支予算、山九株式会社福岡支店長桑鶴浩二氏の副会長就任などすべての協議事項において全員一致にて承認されました。また、新会員の方々には、今後九州日本香港協会の活動に積極的に参加していきたいとの決意表明を含めた入会挨拶も頂きました。

総会後の講演会では「日本食品輸出先としての香港の現状と展望」と題して、香港貿易発展局大阪事務所長伊東正裕氏よりご講演を頂きました。

講演の中では、香港のビジネス環境概要、経済貿易緊密化協定(CEPA)、アジアの夕食概況、香港の夕食ビジネスの魅力、日本夕食チェーン出店状況、夕食

市場における新展開として吉野家、一蘭、リンガーハット、日本式カレー、おむすびの例、香港のハラル市場、さらに高級化、日本化が進む香港小売市場の現状などを説明して頂きました。後半部ではASEANと中国をつなぐ中継地、華僑・華人ネットワークセンター、ゲートウェイとしての香港の戦略的重要性について話されました。また、香港貿易発展局を活用して進出するメリットや、食品の海外マーケティングには、開発型営業と料理学校、シェフとのネットワーク構築が鍵であることが強調されていました。終盤では中国の「一帯一路」構想やアジアインフラ投資銀行(AIIB)と九州の役割について話され、講演は終了しました。1時間という短い講演でしたが、出席者の皆様に香港の食品産業の現状と今後中国本土の政策について理解が深められたという高い評価を頂き、盛会裏に終わりました。

今後とも九州日本香港協会は、香港と九州の魅力を随時アピールしていき、両地域の発展に貢献していきたいと存じます。



石原会長総会開会挨拶



伊東所長講演会





## 北海道日本香港協会

## 「香港ビジネスセミナー」、「香港のつどい2015」を開催

北海道日本香港協会は、3月18日（水）に札幌グランドホテルにて「香港ビジネスセミナー」ならびに「香港のつどい2015」を開催しました。

香港における日本食人気は根強く、中でも道産食品はブランド化され、高い評価を得ています。また、アジアを中心に北海道は人気の観光地で、昨年度の来道外国人数は過去最高を記録しました。香港からは個人旅行者も多く、多くのリピーター客が道内各地を訪れています。

そこで、今回の「香港ビジネスセミナー」では、「食」と「観光」をテーマに3名の講師の方々にご講演いただきました。定員を上回る120名の方々のご参加をいただき、道内企業の皆さまの関心の高さがうかがえました。

まず初めに、香港貿易発展局日本首席代表古田茂美氏より、2015年の香港の経済見通しをご説明いただきました。また、今後有望な分野として「食品産業」、「ヘルスケア産業」のほか「コンテンツ産業」を挙げられ、札幌市の「香港フィルマート」への出展についてもご紹介いただきました。

続いて、AHT INTERNATIONAL LTD取締役社長安部隆孝氏より「香港での経験から」と題し、ご講演いただきました。香港で40年近くにわたり日本食レストランを運営し、平成25年日本食海外普及功労者として表彰を受けた安部氏の実体験に即したお話に、香港進出を考えている企業の方々には、真剣に聞き入っていました。

最後に、インバウンドに関心が高まっている中、日本政府観光局（JNTO）香港事務所次長清水泰正氏から、訪日香港観光客の現状等について最新データに基づいてご説明いただきました。また、「新しい観光素材の発掘と発信」、「地域分散と新規直行便誘致」を軸に、成熟し



「香港のつどい2015」香港経済貿易代表部 ウィニー・カン代表のご挨拶  
た旅行市場である香港から北海道への更なる誘客に向けての提言をいただきました。

セミナーに続き、記念すべき第10回「香港のつどい」を開催しました。主催者を代表して当協会の横内会長が挨拶した後、香港特別行政区政府駐東京経済貿易代表部ウィニー・カン代表よりご挨拶をいただきました。地元を代表して、北海道経済産業局秋庭英人局長、北海道運輸局渡邊良局長よりご挨拶をいただいた後、中華人民共和国駐札幌総領事館滕安軍総領事に乾杯のご発声をいただきました。

会場では、北海道スイーツや乳製品、ワイン、銘酒などのコーナーのほか、北海道国際輸送プラットホーム推進協議会による「海外おみやげ宅配便」のPRブースや、キャセイパシフィック航空会社様による香港旅行のパンフレットコーナーなど、参加者の皆さまには各ブースを回って楽しんでいただきました。

会の途中には、香港貿易発展局古田茂美首席代表より、昨年12月に行われた「香港フォーラム」のご報告をいただきました。北海道から参加した「ダンディー・フォー」が、素晴らしいハーモニーを披露し、世界中から集まった香港協会会員の皆さまから拍手喝采を浴びた映像に、あらためて大きな拍手が沸き起こりました。

毎年人気のラッキードローでは、多くの企業様より景品をご提供いただき、キャセイパシフィック航空会社様よりご提供の「札幌-香港往復航空券」の抽選の際には、場内が大いに盛り上がりました。香港と北海道両関係者の皆さまに親睦を深めていただき、札幌市井上唯文副市長（当協会副会長）の締めのご挨拶により、盛況のうちに会を終えることができました。

北海道日本香港協会は、新たな10年に向け、これまで以上に北海道と香港の文化・経済交流の発展に向けて、努力してまいります。



定員を上回る多くの方にご参加いただいた「香港ビジネスセミナー」



## 宮城日本香港協会事務局 武田 功

### 2015年度通常総会&セミナーを開催

5月29日(金)パレスへいあん5階「ボヌールホール」において、通常総会&記念セミナーを開催致しました。来賓として、宮城県国際経済交流課長の三坂達也氏、セミナーの講師をも務める仙台市副市長の伊藤敬幹氏、石巻市長の亀山紘氏、そして香港貿易発展局日本首席代表の古田茂美氏にご出席頂き、70名（委任状出席を含む）の出席を得て行われました。

続く記念セミナーにおいては、伊藤敬幹氏による「仙台市の香港プロモーションと『クール・センダイ戦略』」と題した講演がありました。氏いわく「仙台には素晴らしい地域資源がある。伊達兜（ダース・ベイダー兜と酷似）、仙台平（GUCCIに劣らず）、こけしや玉虫塗、仙台筆筒など。香港からの宿泊者数は低迷しているが、震災前には14,002人（H20年）と大勢の香港人が仙台にやってきた。10年以上にわたって定期便が就航していた実績があった」と。また、続いて登壇した(株)JTBグローバルマーケティング&トラベルの地域コーディネーター阿部昌孝氏は、「訪日インバウンドの現状、東北の方向性」と題して講演。東北の知名度がアジアで低迷している現状を踏まえ、正確な情報の持続的な発信や統一感のある東北ブランドの配信が必要と、また、被災地周遊や新たなルート開発、主要拠点での広域情報の提供が必要などと、「5つのインバウンド戦略」を提案されました。

終了後、懇親会では、昨年に続いて村井宮城県知事が



伊藤副市長による講演風景

出席、香港の素晴らしさ、そして一日も早い香港定期便化をめざして空港の民営化に取り組んでいることなど、香港との交流の重要性について話をされました。知事の出席もあって、写真を撮る人など途切れることなく続き、とても賑わいのある懇親会となりました。

その後、アトラクションとして常盤木学園高等学校の生徒さんによる歌と楽器演奏が披露され、参加した会員の皆様も楽しく懇談されていました。



### 女性部会が香港文化教室を開催

3月12日(木)市内のホテルに於いて、NPO法人「美・JAPON」の小林栄子理事長を講師に、「おしゃれ教室」を開催しました。着物生地で作ったジュエリーや、また、カラーコーディネーターとして、参加者一人一人に、普段着ている洋服の色合い、顔の色や写り映えのするカラーなど、トータル的な診断もしていただきました。

また、5月19日(火)中国北京料理「飛天」に於いて、「料理教室」を開催しました。メイン料理は「皇帝色海老チリソース」です。イエローパプリカとかぼちゃを原料に「黄色いソース」をつくり、それをエビチリにしたものです。赤いエビチリに慣れている私たちにとっては、まさに「中国情緒」漂う味わいを体験することができました。



小野寺会長（左から3人目）、村井知事（右から5人目）、古田代表（右から2人目）と来賓の方々





## 沖縄日本香港協会 事務局

### 香港・沖縄の貿易ビジネスについて

香港から最も近い日本である沖縄は、近年、那覇空港の24時間運用を活用したANA全日本空輸(株)の航空貨物ハブ事業や、香港・沖縄間の航空旅客便が香港航空・香港ドラゴン航空合わせて毎日3便運航されるなど、益々香港との結びつきを増しています。

沖縄日本香港協会では、昨年、沖縄県と香港貿易発展局のMOU(了解覚書)の締結を積極的に協力するなど、香港と沖縄のビジネス展開の支援を行ってまいりました。

沖縄日本香港協会の設立メンバーであり、ジェットロ(日本貿易振興機構)の貿易アドバイザーとして、長く沖縄の貿易ビジネスに携わっている名城徹氏に、香港と沖縄のビジネスの現状と今後の展開について伺いました。



ジェットロ貿易アドバイザー名城徹氏

#### ◆香港・沖縄の貿易ビジネスの状況について

私自身の貿易ビジネス(経験)は、東京の商社時代に、マレーシアで主にラワン材の開発・輸入の仕事に従事したことから始まりました。現在は、ジェットロの貿易アドバイザーとして輸出有望案件発掘支援専門家として沖縄県内企業7社の海外展開を支援、かつて沖縄日本香港協会の設立にも携わりました。

沖縄サミット(先進国首脳会議)以降、沖縄県産品の海外輸出の機運が高まり、沖縄県物産公社において、沖縄県産品のアジアにおける販売展開のお手伝いをさせていただきました。特に香港にて継続かつ重点的にプロモーションを展開した結果、現在沖縄県産品の約500品目が香港に輸出されています。

#### ◆沖縄から香港に輸出されている製品について

サトウキビから作られる黒糖、泡盛、ビール、塩、ソーセージ等の豚肉加工品、県産の特色がある野菜、菓子類が多く輸出されています。

オリオンビールは、香港の優良商社と提携し、毎年売上を伸ばしています。

一方、沖縄県産野菜等の農産物も香港において人気



香港そごうの沖縄フェア

ありますが、沖縄の生産量の関係から安定供給には至っていないのが現状です。

#### ◆ANAの航空物流ハブの活用について

ANAの航空物流ハブ事業の開始後、香港をはじめ、アジアの主要都市への輸送にかかる時間は大幅に短縮され、また、小ロットの輸出も可能となりました。高付加価値の農産品や精密機械の輸送に向く航空物流ハブ事業は、鮮度保持の観点からも有利であり、沖縄県のみならず、全国地方都市の企業においても利、活用ができ、今後益々期待されています。

#### ◆ビジネス拠点としての香港の重要性について

沖縄県では、台湾・シンガポール等アジアの主要都市におけるビジネス展開を支援していますが、マーケットとして最も大きな中国本土への進出の足掛かりとなる香港の役割は、情勢の変化があるとはいえ、益々重要になっていると思います。

沖縄県ではアジアとのビジネス展開を目的に「沖縄大交易会」が開催されると共に、新たな大型MICE施設の計画があります。MICEの誘致・運営など国際ビジネス拠点としての香港から学ばなければならないことは多くあると考えます。

沖縄日本香港協会の関係者も香港貿易発展局の提供しているプラットフォームを更に活用していかなければならないと考えています。



香港フードエキスポの沖縄関係ブース

# HIROSHIMA

広島日本香港協会



広島日本香港協会事務局 大久保 忠之

## 春節・意見交換会の開催

広島日本香港協会では、去る3月6日（金）に香港貿易発展局のご支援の下、「春節・意見交換会」を、昨年と同じく市内のリーガロイヤルホテル広島・中華料理レストラン「龍鳳」にて開催いたしました。協会からは、深山英樹会長、光本和臣副会長ら8名の役員の方々にご出席頂き、香港貿易発展局大阪事務所の伊東正裕所長ならびに田中洋三次長にご参加いただきました。

冒頭での深山会長からの挨拶では、①今年度も香港貿易発展局のご支援の下、会員でもある各商工会議所と地域セミナーならびに個別相談会を開催するとともに、12月開催の香港フォーラム2014への参加事業等、各種事業を実施した結果、各種セミナー・個別相談会の開催回数は、前年度より大幅に増加したこと。②会員には、香港、中国、東南アジアでのビジネス展開を一層推進するため、是非、広島日本香港協会事業ならびに香港フォーラム等にご参加いただき、香港の生の情報を直接肌で感じていただきたいこと。③香港協会に加盟しているメリットとして香港貿易発展局の企業支援サービスを、より一層ご活用いただきたいこと。等を述べられました。



吉富社長のご講演

続いてセミナーでは、天然とんこつラーメン専門店を海外に展開されている株式会社一蘭代表取締役社長吉富学氏より「一寸法師戦略～弱者が強者に勝つ！商売の秘訣～」と題し講演をいただきました。要約すると以下のような内容でした。

- 現代はデジタル革命により便利になった。苦手という意識ではいけない。会社はデジタルすべてを使いこなす必要がある。世の中の流れはあまりにも早く、情報量が多い。未来を予見しながら対応しないと生き残れない。情報交換の手段は、手紙→固定電話→携帯電話→メール（手紙）、と循環している。昔の人は自分が生きている間に以前あったことが循環し戻ってくるが見えなかったが、現在は生きている間にこの循環が確認できる。上から見ると丸い円だが、横から見ると螺旋状に進んでいる。商売も先代がやっていたものをもう一度見直してやってみる必要がある。
- 昔は有形資産だけしかカウントされなかったが、最近では無形資産もカウントされるようになった。無形資産とは、社長の能力が20%、ブランド力が60%と言われている。名前の付くもの、人の頭で連想されるものすべてがブランドである。商売の

秘訣はこのブランドにある。ブランドは商売の関係性の強いものにする、消費者の記憶に粘り強くついているイメージのものとすることが大切である。

- イメージの作り方は3つある。一つ目は独自性、99%の人が反対するアイデアや他社にやられたら嫌だと思えるものにする。二つ目は専門性、世界でトップ100社の売上げはあまり変わらないが、利益率の大小が違う。アジアは専門性がなく利益率が低く、欧米は専門性があり利益率が高く、イメージがとんがっている。三つ目は物語性、ミッキーマウスはうその世界だが人気は高い。
- ネーミングが一番大切であり、つけないと損である。名前が変えられなければキャッチコピーやサブタイトルをつけるという方法もある。ブランドは腐っていく。拡張はいけませんが収縮やとんがるのはよい。イメージは売上げアップにつながる。
- 企業で10年後に残っているのは3%程度である。人の心を大切にしている者が社長になる。会社はトップの人の器以上には大きくならない。感謝の気持ち、与える気持ち、愛の気持ちで行動することが必要である。人間の行動を動かすものは人の心（愛）である。おのれをコントロールし、他人を大切にしなければいけない。

会の最後には、出席者全員で、円卓を囲み、美味しい中華料理を堪能し、中国正月を祝うとともに、新年度の更なる当協会の発展を祈念し、無事に会を終了しました。

なお、この場をお借りして、ご多忙中、会にご参加いただき、有益な情報をご提供いただいた、香港貿易発展局大阪事務所の伊東所長、田中次長、大変含蓄のあるご講演をいただいた株式会社一蘭代表取締役社長吉富学氏には厚く御礼申し上げます。

今年度も、事務局として講演会やセミナー等を積極的に企画・実施していく事により、協会会員の中から1社でも多く、香港をパートナーとした海外での事業展開がなされることを期待しております。



参加者の集合写真





## 新潟日本香港協会 事務局

## 平成27年度通常総会・講演会・懇親会

新潟日本香港協会では、4月20日(月)15時30分から平成27年度通常総会・特別講演会・懇親会を開催しました。会場は今年から会員となったANAクラウンプラザホテル新潟で行われ、当日は約40名の会員や各種団体の皆様が出席しました。



吉田会長による挨拶

総会では、来賓としてセミナー講師をも務める香港貿易発展局日本首席代表の古田茂美氏にご出席いただきました。

当日は吉田会長の挨拶で開会し、田中事務局長の議事進行により、平成26年度事業報告・収支決算報告および監査報告、平成27年度事業計画・収支予算の4議案と役員人事報告について満場一致で可決・承認されました。続いて特別講演会では、「香港経由のグローバル化～地方経済の挑戦～新潟、札幌、岐阜の経験～」と題して、香港貿易発展局日本首席代表の古田茂美氏にご講演いただきました。古田代表からは、香港が世界貿易をすることができるメカニズムとして食品、コンテンツ、デザイン雑貨の3つの産業における香港展示会の位置づけや、地方から日本のグローバル化を推進するためには日本の強みである技術と文化を有効に発信する必要があることなど、他県の取り組みにおける成功事例や古田代表の豊富な知識と経験に基づきながらお話いただきました。出席された会場の皆様は熱心に耳を傾けながらメモをとられていました。

講演の最後には、今年の7月15日～21日に行われ



古田代表のご講演



森副知事による挨拶

る香港最大級の書籍イベントである「香港ブックフェア2015」の開催概要についてもご説明いただきました。数多くのマンガ家を輩出し「マンガのまち新潟」として数々のPR活動を行っている新潟市と当協会会員の日本アニメ・マンガ専門学校は、昨年の初の共同出展に続き、今年も同フェアへのブース出展を予定しています。昨年はマンガ原稿の制作体験を実施し、マンガに興味のある現地の小中高生が行列を作るほど好評だったブックフェアですが、二度目の出展となる今回も新潟の魅力が香港を経由して世界に発信できる素晴らしい機会になることと思います。

総会と特別講演会の後は会場を隣に移し、懇親会が行われました。懇親会は吉田会長の挨拶で始まり、役員による挨拶では、当会顧問の新潟県知事の代理として新潟県副知事森邦雄氏、同じく顧問の新潟市長の代理として新潟市副市長木村勇一氏よりご挨拶をいただきました。そして、中華人民共和国駐新潟総領事館の何平総領事による乾杯で幕を開け、懇談となりました。懇談中は、名刺交換をされる方や香港を軸とした今後の海外活動展開について意見交換される方などおられ、盛会で幕を閉じました。

なお、この場をお借りして、お忙しい中、当協会の総会にご参加いただいた皆様、また、大変有益なご講演をいただいた香港貿易発展局の古田代表には、改めて厚く御礼を申し上げます。

設立して3周年を迎えた新潟日本香港協会ですが、今後も会員の皆様にとって有益な情報を提供し、1社でも多く香港をパートナーとした海外への事業展開を行う企業が増えることを期待しております。



木村副市長による挨拶



FOUR SEASONS HOTEL  
*Tokyo at Marunouchi*

# MOTIF

RESTAURANT & BAR

フォーシーズンズホテル丸の内 東京に2015年4月、フレンチダイニング  
MOTIF RESTAURANT & BARがオープンしました。

旬の厳選食材の旨みや香り、素材の持ち味を最大限に  
引き出した料理を五感で楽しむ新しい食空間の誕生です。

東京駅・丸の内のパノラマビューとともに、美味しいひとときをお楽しみください。

## モティーフレストランアンドバー

東京都千代田区丸の内1-11-1  
パシフィックセンチュリープレイス丸の内  
フォーシーズンズホテル丸の内 東京7階  
03-5222-5810  
<http://motiftokyo.com>

